



各 位

平成20年 1月25日

会社名 株式会社神鋼環境ソリューション

代表者名 取締役社長 青木 克規

(コード番号 6299 大証第2部)

問合せ先 総務部長 中熊 道人

(TEL. 078-232-8018)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年10月30日の中間決算発表時に公表しました当社の平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### I. 業績予想の修正

##### 1. 平成20年3月期連結通期業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

|                | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益(円) |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------------------|
| 前回発表予想(A)      | 75,000 | 1,200 | 1,000 | 300   | 3円72銭             |
| 今回修正(B)        | 75,000 | 1,200 | 1,000 | △500  | △6円20銭            |
| 増減額(B-A)       | 0      | 0     | 0     | △800  |                   |
| 増減率(%)         | 0.0%   | 0.0%  | 0.0%  | —     |                   |
| 前期(平成19年3月期)実績 | 71,579 | 511   | 339   | △355  | △4円41銭            |

##### 2. 平成20年3月期単独通期業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

|                | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益(円) |
|----------------|--------|-------|-------|--------|-------------------|
| 前回発表予想(A)      | 60,000 | 1,200 | 1,200 | △300   | △3円72銭            |
| 今回修正予想(B)      | 60,000 | 1,200 | 1,200 | △1,100 | △13円65銭           |
| 増減額(B-A)       | 0      | 0     | 0     | △800   |                   |
| 増減率(%)         | 0.0%   | 0.0%  | 0.0%  | —      |                   |
| 前期(平成19年3月期)実績 | 63,999 | 1,316 | 1,315 | △241   | △3円00銭            |

## Ⅱ. 業績予想の修正理由

### (1) 連結業績

売上高・営業利益・経常利益に修正はありませんが、当期純利益が 8 億円減少します。主として、塩ビ・リサイクル事業を運営している連結子会社の株式会社コベルコ・ビニループ・イースト（以下、KVEといたします）の固定資産減損・棚卸資産処分等の特別損失約 27 億円を計上し、対応する法人税等を連結決算において調整した結果によるものです。

KVEは平成 18 年 5 月に営業を開始し、まずは 2 本柱である農業用廃塩ビ及び廃電線の回収・再生・販売を軌道に乗せ事業基盤の確立をすべく、今日まで約 2 年間の操業を行っております。しかしながら、他の廃プラスチック等の原料回収が難しくなっている様に、廃塩ビ原料回収においても農業用廃塩ビは作付け面積減少や農ポリへの素材転換など排出状況の構造的変化が進んでいること、廃電線では想定を超える銅価格の高騰により中国への輸出が拡大した等の要因により、所期の回収計画から大きな乖離が生じ低操業を余儀なくされています。このため、平成 18 年度に 9 億円の経常損失を計上し、平成 19 年度も 7 億円の経常損失が見込まれる状況にあります。

事業開始以来、収益確保に向け種々具体策を検討・実施してきましたが、今年に入り将来の事業見通しについて検証した結果、引き続き市場環境は厳しいと想定され、加えて先行きが不透明なことから収益確保は厳しい状況にあるとの認識に至りました。

このため、足下の損失・資金流出の最小化を図るためのあらゆる対策を講じるとともに、事業パートナーであるソルベイ社(ベルギー)とも本事業について抜本的かつ総合的な検討を開始しました。

### (2) 単独業績

売上高・営業利益・経常利益に修正はありませんが、当期純利益の減少は、主として、上記理由により発生するKVEに関連する損失を親会社である当社が特別損失として計上し、対応する法人税等を調整した結果によるものです。

尚、配当予想につきましては 1 株当たり 4 円で修正ありません。

- 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上